リスニング端末

形名

PA-L100

取扱説明書

保証書付（巻末）
(WITH WARRANTY CARD)

リスニング学習

ボイスレコーダー

音楽/ファイル

本体設定

パソコン接続

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お客様ご相談窓口のご案内とともに、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

⚠：この記号は気をつける必要があることを表しています。

🛇：この記号はしてはいけないことを表しています。

❗：この記号はしなければならないことを表しています。

本製品について

⚠ 警告

❗ **万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常があるとき、または異物(金属片・水・液体)が製品に入ったときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜き、電源を切ってお買いあげの販売店に連絡する**
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

❗ **指定のACアダプターを使用する**
指定外のACアダプターを使用すると、火災・事故の原因になります。

🛇 **本体や端子に針金などを差し込まない**
火災・感電・事故・故障の原因になります。

自動車を運転中に操作しない
運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。

安全のため、次の場所に置いたり、取り付けたりしない
- エアバッグシステムの動作を妨げる場所
- 運転の妨げになる場所

⚠ 注意

製品を分解・改造しない
火災・感電・けがの原因になります。

雨が当たる所や、風呂場・台所など水や液体がかかる所、湿気の多い所では使用しない
火災・事故・故障の原因になります。

油煙や湯気が当たる所では使用しない
火災・事故・故障の原因になります。

日の当たる自動車内、直射日光の当たる所、火や暖房器具のそばなど、高温(60℃以上)になる所に置かない
火災・事故の原因になることや、変形・変色することがあります。

ホコリの多い所、海辺や砂地など内部に砂が入りやすい所で使用しない
発火・故障の原因になることがあります。

次のことをお守りください。内蔵されている充電池の発熱、発火、破裂の原因となることがあります。
- 充電は必ず0 ～ 40℃の範囲で行ってください。
- 充電方法については、本取扱説明書をよくお読みください。
- 使用した後は、必ず本製品の電源を切ってください。

ACアダプターの取り扱いについて

⚠ 警告

本製品には、必ず付属のACアダプターEA-77を接続する
EA-77以外のACアダプターを接続すると火災の原因になります。

表示された電源電圧(交流100ボルト)以外で使用しない
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因になります。

ACアダプターはコンセントに直接接続する
タコ足配線は過熱し、火災の原因になります。

ACアダプターを使うときは次のことを守る
お守りいただかないと、火災や感電の原因になります。
- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない。
- ACアダプターを水や、ほかの液体につけたり、ぬらしたりしない。
- ACアダプターおよび本製品の上やそばに、液体の入った容器を置かない。
  倒れて水などがかかると、火災や感電の原因になります。
- お客様による改造や分解・修理は行わない。

次ページに続く

前ページの続き

⚠ 警告

- ACアダプターに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
- ACアダプターに針金などの金属を差し込んだりしない
- ACアダプターを抜くとき、コードを引っ張らない
- コードを傷つけたり、加工したり、破損させたりしない
- コードに重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしない
- コードなどが傷ついたり破損しているACアダプターを使用しない

ACアダプターを使用しないときは、コンセントおよび本製品から外しておく

万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常があるとき、または異物(金属片・水・液体)が製品に入ったときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜き、電源を切ってお買いあげの販売店に連絡する

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

雷が鳴りはじめたら、本製品の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く

落雷により、感電・火災の恐れがあります。

⚠ 注意

次のことを守って使用する

火災・感電・故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- 周囲温度0～40℃、湿度30～80%の範囲で使用する
- 直射日光の当たる場所では使用しない
  また、炎天下の車内、火や暖房器具のそばなど、高温になる所に置かない
- ほこりの多い場所に置かない
- 重いものを載せたり、落下しやすい所に置かない
- 電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
- 布などでくるまない
- 市販の「電子式変圧器」は使用しない

ヘッドホンの取り扱いについて

⚠ 警告

事故を防ぐため、次のことを必ず守る

- 自動車やバイク、自転車の運転中は、ヘッドホンを絶対に使わないでください。
- 歩行中は周囲の音が聞こえなくなるほど音量を上げ過ぎないでください。特に、踏切りや横断歩道などでは、十分に気をつけてください。

⚠ 注意

ヘッドホンで聞くときは音量の設定に気をつける

思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因になることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ご注意

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

記憶内容保存のお願い

この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときは、お客様が記憶させた内容が変化・消失する場合があります。
録音したファイルなど重要なデータは、パソコンに必ずコピー(バックアップ)してください。(39ページ参照)

ご注意 お客様が録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

もくじ

使用上のご注意

正しく安全にお使いいただくために次のことは必ずお守りください。

◆ 取り扱いのご注意

持ち運ぶときは

- ハンドストラップを取り付け、ハンドストラップを持って振り回したり、強く引っ張ったりしないでください。
  故障や破損の原因になります。

- ズボンのポケットに入れたり、満員電車などで強く押されるような所に入れたりしないでください。
  製品に強い力が加わり、変形や故障、破損の原因になります。

取り扱いはていねいに

- 落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。
  持ち運びや移動の際にもご注意ください。

他の機器との接続について

- 本機に接続して使用する機器の取扱説明書もよくお読みください。また、取扱説明書はいつでも見ることができる場所に必ず保存しておいてください。

◆ 屋外で使用する場合のご注意

雨天での使用

- 雨天・降雪中など、ぬれる恐れのある場所では使用しないでください。

海辺での使用

- 砂浜や砂地など、砂ぼこりの多い所に置いたり、使用したりしないでください。内部に砂などが入ると故障や発火の原因になります。

◆ 使用場所のご注意

日本国内でご使用ください

- 本機は日本国内での使用を目的に設計されています。
  海外ではご使用にならないよう、お願いいたします。

高温や低温の場所では使用しない

- 周囲の温度は0℃～40℃、湿度は30％～80％の範囲内でお使いください。

電磁波の強い場所や機器の近くでは使用しない

- 高圧線や携帯電話など、電磁波の強い場所や機器の近くで録音すると雑音が入りますので使用しないでください。

病院や飛行機の中では電源をお切りください

- 病院や飛行機の中など、使用が制限または禁止されている場所では、電源をお切りください。
  事故の原因になる恐れがあります。

◆ 保管場所のご注意

磁気にご注意

- 本機に磁石・電気時計・磁石を使用したおもちゃなど、磁気をもっているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、大切な記録が消えることがあります。

◆ 著作権についてのご注意

- 著作権の対象となっている著作物を複製、編集などすることは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製などについて著作権者などから許諾を受けているなどの事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権などを侵害することとなります。
  上記のような利用方法は、著作権者などから損害賠償などを請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

◆ 商標について

- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- Intel、Pentiumは、米国Intel Corporationの登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

この製品に収録されている内容は、下記の辞書・書籍にもとづき編集しています。

『Monthly Listening Club for BEGINNERS Vol.1 ～ Vol.6』 ゼンシャル
（Vol.1：平成 16 年 6 月 発行）　（Vol.2：平成 16 年 7 月 発行）
（Vol.3：平成 15 年 2 月 発行）　（Vol.4：平成 16 年 9 月 発行）
（Vol.5：平成 16 年 10 月 発行）　（Vol.6：平成 15 年 5 月 発行）

『Monthly Listening Club BASIC COURSE　2005 年 3 月号～ 2005 年 6 月号』 ゼンシャル
（2005 年 3 月号：平成 17 年 2 月 発行）　（2005 年 4 月号：平成 17 年 3 月 発行）
（2005 年 5 月号：平成 17 年 4 月 発行）　（2005 年 6 月号：平成 17 年 5 月 発行）

『英単語・熟語ダイアローグ 1800』旺文社　（2000 年 12 月 発行）

『TOEIC® テスト英単語・熟語マスタリー 2000』 旺文社　（2003 年 8 月 発行）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI ）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品本体をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- ACアダプターとラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- 使用されるケーブルは指定のものを使用してください。

はじめてご使用になるときは

まず、充電をする

本機を使用するときは、最初に充電してから使用してください。
充電時間は約4時間です。

◆ ACアダプターで充電する

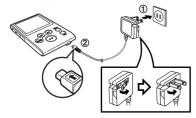
- ACアダプターは付属のEA-77をお使いください。
- 2〜3ページの「ACアダプターの取り扱いについて」もよくお読みください。

1 本機の電源が入っている場合は、電源を切ります。

本体右側の MENU キーを約3秒間押して電源を切ります。

2 ACアダプターをコンセントに差し込みます。(①)

3 ACアダプターのプラグを本機に接続します。(②)

ACアダプターのプラグの ⬆ マークがある面を上に向けて差し込みます。
画面右下に ✚▭ が表示され、充電が始まります。

充電が開始されないときは、ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。

4 満充電になり、充電が終了すると ✚▭ が ▭ に変わります。

通常、約4時間で満充電されますが、使用温度や使用状況により変動します。

ご注意 ACアダプターを外すときは、必ず本機の電源を切り(充電中の画面にし)、本機からプラグを抜いた後、コンセント側を抜いてください。
正しく抜かないと、
①録音中のデータが記録されない
②すべてのキーが働かない
など、正常に動作しないことがあります。②の場合は裏面の**RESET**スイッチをボールペンなどで押して離した後、MENU キーを押してください。

- **充電池について**
  本体内蔵の充電池は、満充電後まったく使用しない場合でも自然放電により電圧が低下します。長期間使用しないときは、定期的に(おおむね2ヵ月に1回程度)充電することをお勧めします。
- パソコンに接続して充電することもできます。(☞ 57ページ)

- 長時間使用しているときや充電しているとき、ACアダプタが温かくなりますが故障ではありません。

◆ 充電池の残量の目安

充電池の残量は、画面右下に表示される電池マークを目安にしてください。

▮▮▮：良好です。
▮▮：すこし少なくなりました。
▮：少なくなりました。充電することをお勧めします。
□：とても少なくなりました。速やかに充電してください。

ACアダプターで使用する

ACアダプターを正しく接続し、MENU キーを押して電源を入れれば、充電しながら本機を使用することができます。

注：充電状態によっては、すぐ使用できないことがあります。

ご注意

- ACアダプターを接続して音楽/ファイル、ボイスレコーダーを使用すると、電源の状態によっては再生/録音時にノイズが入る場合があります。
- 録音中にACアダプターを抜くと、録音中のデータが壊れることがあります。

バックライトについて

暗いところで画面が確認できるように、キーを押したときバックライトが点灯します。この点灯時間は、最初は5秒に設定されていますが、52ページの方法で変更することができます。

電源の入れかた、切りかた

◆ 電源を入れる

1 電源が切れているとき、MENU キーを約1秒間押します。

電源が入り、モード選択画面が表示されます。

◆ 電源を切る

1 電源が入っているとき、MENU キーを約3秒間押します。

電源が切れます。

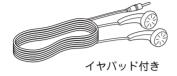
ご注意

- 電源を切るときに MENU キーを長い間押し続けると、電源が一度切れたあとに再び電源が入る場合があります。
- ACアダプターを接続しているときは MENU キーで電源を切るといったん画面が消えた後、充電中の画面が表示されます。

付属品を確認する

本製品には次の付属品がありますので、ご確認ください。

ヘッドホン

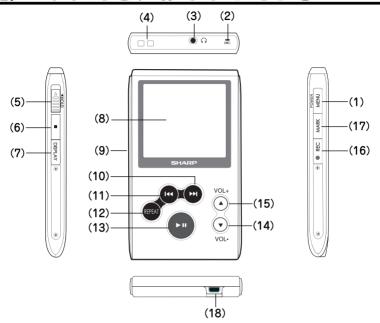
イヤパッド付き

ACアダプター（EA-77）

USB対応ケーブル

CD-ROM（Microsoft® Windows® 98 Second Edition用USB対応ドライバ、リカバリーツール、リスニングクラブデータファイルなど）

ソフトケース

取扱説明書（保証書付）

各部のなまえと、おもなはたらき

(1)　電源/メニューキー(MENU)

- 電源を入れるときに押します。また、電源が入っているときに約3秒間押し続けると電源が切れます。
- メインメニュー画面を表示させるときに押します。

(2)　内蔵マイク

ボイスレコーダーで音声などを録音するとき使用するマイクです。

(3)　ヘッドホン端子

付属のヘッドホンを接続します。

(4)　ストラップ穴

ハンドストラップを取り付けるときに使用します。

(5)　ホールドキー(スライド式)

ホールド側にすると他のキー操作を受け付けません。誤ってキーが押され動作することを防ぎます。解除するときは解除側にしてください。

ホールド側

解除側

(6) 停止キー(■)

音声や音楽の再生、録音などを停止します。

(7) 表示切り替えキー(DISPLAY)

画面表示を切り替えます。

(8) 表示部

(9) RESET(リセット)スイッチ(裏面)

正常に表示しない、正しく操作できないなどの異常が発生したときに押します。

(10) 早送りキー(⏭)

- 音声や音楽などの再生中に押すと、次のチャプターや曲などの先頭に移動します。
  押したままにすると再生中の音声や音楽を早送りします。
- メニュー画面やリスト画面で後ろに"▶"がある項目を選んで押すと、次のメニュー画面などを表示します。

(11) 巻き戻しキー(⏮)

- 音声や音楽などの再生中に押すと、チャプターや曲などの先頭に戻ります。チャプターや曲などの先頭で押すと、前のチャプターや曲などの先頭に移動します。
  押したままにすると再生中の音声や音楽を巻き戻します。
- メニュー画面やリスト画面で押すと、1つ前のメニュー画面などに戻ります。

(12) リピートキー(REPEAT)

- 学習コンテンツで音声の再生中に押すと、再生中の節や文または単語などの先頭に戻って再度、再生します。

(13) プレイ/ポーズキー(▶II)

- 音声や音楽などの再生または一時停止をします。
- メニュー画面やリスト画面など、項目を選択する画面で押すと選ばれている項目を決定/実行します。

(14) 音量ダウン/下カーソルキー(▼)

- 音声や音楽などの再生中に、音量を小さくします。
- メニュー画面やリスト画面で項目を選ぶときに使用します。

(15) 音量アップ/上カーソルキー(▲)

- 音声や音楽などの再生中に、音量を大きくします。
- メニュー画面やリスト画面で項目を選ぶときに使用します。

(16) 録音キー(● REC)

ボイスレコーダーの録音待機画面で録音を開始するときに押します。

(17) マークキー(MARK)

リスニングクラブ、ダイアローグ1800、マスタリー2000で音声再生中に押すと、その節などがマーキングされ、マーキング再生機能(☞ 21、26、31ページ)でマーキングした箇所から再生できるようになります。

(18) AC アダプター/ USB 対応ケーブル接続端子

- 本機を充電するときにACアダプターのプラグを接続します。
- パソコンと接続するときに、付属のUSB対応ケーブルを接続します。

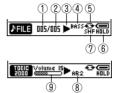
状態表示の見かた

画面の下側に動作の状態などが表示されます。これらの見かたを説明します。

画面マーク：表示されている画面のコンテンツ名などを表示します。主なマークは次のとおりです。

- MENU：メインメニューを表示しています。
- LISTEN：リスニングの画面を表示しています。
- MLC：リスニングクラブの画面を表示しています。
- DIA 1800：ダイアローグ1800の画面を表示しています。
- TOEIC 2000：マスタリー2000の画面を表示しています。
- VoiceR：ボイスレコーダーの画面を表示しています。
- ♪FILE：音楽／ファイルの画面を表示しています。
- 設定：設定の画面を表示しています。

電池マーク：充電池の残量の目安を示します。(☞ 11ページ)

音楽／ファイル、マスタリー2000の画面を例に再生中の状態表示を説明します。

①**チャプター番号(ファイル番号)**：1つ前のリストの先頭から何番目かを示します。

②**チャプター数(ファイル数)**：1つ前のリストに含まれるチャプター(ファイル)の数を示します。

③**動作状態**

▶	：再生	●	：録音(ボイスレコーダーのみ)
■	：停止	❚❚	：一時停止
▶▶	：早送り	◀◀	：巻戻し

④**イコライザー表示**(音楽／ファイルのみ)

NOR	：ノーマル	CLAS	：クラシック
JAZZ	：ジャズ	POP	：ポップ
ROCK	：ロック	BASS	：バス

⑤**繰り返し再生状態**

：1チャプター/マーク／1ファイル
：全チャプター/マーク／全ファイル

⑥**ホールド状態**

⑦**シャッフル再生状態**

⑧**オートリピート再生**

AR2 ：2回リピート
AR3 ：3回リピート

⑨**音量**：▼、▲を押したときに表示されます(音量はバーの右上の数字で00～30の範囲で調整できます)。

メニュー画面などでの項目の選びかた

本製品を使用する場合、キーで操作する以外に、多くの場合はメニュー画面やリスト画面で必要な項目を選んで行きます。

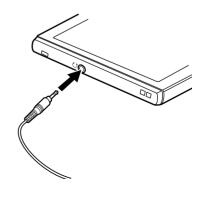
メニュー画面やリスト画面では、▼や▲でカーソルを移動させて目的の項目を選び、▶IIで実行(決定)します。

表示項目が多く、画面に表示されていない場合は画面右上に↓や↑が表示されます。このときは▼や▲でカーソルを移動させていくことにより隠れている項目を表示させることができます。

表示画面について
本書に記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。

ヘッドホンを接続する

ヘッドホンを接続するとき、取り外すときは、この製品の電源を切ってから行ってください。

- プラグは奥まで完全に差し込んでください。
- プラグの抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを引っ張ると故障の原因になります。

リスニング学習をする

『リスニングクラブ』で学習をする

ゼンシャル「マンスリーリスニングクラブ（ビギナーズ／ベーシック）」の音声再生と、その内容の英文表示、日本語訳表示を行うことができます。

ビギナーズコースを使う

1 メインメニュー画面で、「リスニング」を選んで ▶II を押します。

リスニングメニュー画面が表示されます。

- 「リスニングクラブ」の表示が薄いときは、データが削除（☞ 60ページ）されたなどにより使用できません。この場合はリカバリー（☞ 62ページ）を行えば元の状態に戻せます。

2 リスニングメニュー画面で、「リスニングクラブ」を選んで ▶II を押します。

リスニングクラブのメニュー画面が表示されます。

- 音声を再生したことがないときなどでは「続きから再生」は薄く表示され選択できません。また、「ビギナーズ」、「ベーシック」の表示が薄いときは上記同様、データが削除された可能性があります。

3 「ビギナーズ」を選んで ▶II を押します。

ボリューム（巻）の選択画面が表示されます。

4 ボリューム(ここでは「Vol. 1」(1巻))を選んで ⏯ を押します。

チャプターの選択画面が表示されます。

<Vol. 1>
BEGIN1-01
BEGIN1-02
BEGIN1-03
BEGIN1-04
BEGIN1-05
BEGIN1-06
BEGIN1-07
MLC BEGIN

5 チャプター(ここでは「BEGIN1-01」)を選んで ⏯ を押します。

チャプター内の英語文などが表示され、音声が再生されていきます。

Hello, everyone. I'm Tom Moore. And I'm Lisa Morrison. Welcome to the Monthly Listening Club for Beginners, Volume 1.
MLC BEGIN 001/026 ▶

6 画面の英語文などの表示を日本語訳表示、文表示なしに切り替えるときは DISPLAY を押します。

英語文表示→日本語訳表示→文表示なし→英語文表示の順に切り替わります(この表示状態は、次に切り替えるまで保持されます)。

- 音声再生を中止するときは ■ を押します。チャプターの選択画面に戻ります。
- ⏯ を押せば、一時停止と再開を交互に行えます。
- チャプターの先頭近くで ⏮ を押せば、前のチャプター(最初のチャプター再生中は最後のチャプター)へ移動します。先頭から約3秒以上経過してから押すと、そのチャプターの先頭に戻ります。⏮ を1秒以上押したままにすると、再生が巻き戻されます。
- ⏭ を押せば、後のチャプター(最後のチャプター再生中は最初のチャプター)へ移動します。⏭ を1秒以上押したままにすると、再生が早送りされます。
  注:再生の移動や送り、戻しを行った場合、音声の切り替わりよりも遅れて表示が切り替わります。
- REPEAT を押せば、再生中の節(セクション)の先頭に戻って再生します。
- 音量は ▲、▼ で調整します。最適な音量に調整してください。
- MENU を押せばメインメニュー画面に戻ります。

◆ メニュー画面、選択画面(リスト画面)で、前の画面に戻るときは ⏮ を押します。

ベーシックコースを使う

ベーシックコースで学習しましょう。操作は、ビギナーズコースとほとんど同じです。

1 メインメニュー画面で、「リスニング」を選んで ▶॥ を押します。
リスニングメニュー画面が表示されます。

2 リスニングメニュー画面で、「リスニングクラブ」を選んで ▶॥ を押します。
リスニングクラブのメニュー画面が表示されます。

3 「ベーシック」を選んで ▶॥ を押します。
本の選択画面が表示されます。

4 本(ここでは「BASIC-3月号」)を選んで ▶॥ を押します。
チャプターの選択画面が表示されます。

5 チャプター(ここでは「BASIC0503-01」)を選んで ▶॥ を押します。
チャプター内の英語文などが表示され、音声が再生されていきます。

6 画面の英語文などの表示を日本語訳表示、文表示なしに切り替えるときは DISPLAY を押します。
英語文表示→日本語訳表示→文表示なし→英語文表示の順に切り替わります。

- その他の操作もビギナーズコースと同様です。前ページを参照ください。

「ベーシックコース」の本の選択画面で表示されるメニュー項目は、それぞれ次の本に対応します。

〈メニュー〉	〈本〉
BASIC-3 月号	2005 年 3 月号
BASIC-4 月号	2005 年 4 月号
BASIC-5 月号	2005 年 5 月号
BASIC-6 月号	2005 年 6 月号

続きから再生する

先に(前回)再生していた箇所の続きから再生を行うことができます。

1 メインメニュー画面で、「リスニング」を選んで ▶II を押します。
リスニングメニュー画面が表示されます。

2 リスニングメニュー画面で、「リスニングクラブ」を選んで ▶II を押します。
リスニングクラブのメニュー画面が表示されます。

3 「続きから再生」を選んで ▶II を押します。
前回再生していた箇所の続きから再生がはじまります。

学習リストを使う

重点的に学習したいチャプターをリストに設定しておくと、そのチャプターだけを学習リストとして表示でき、目的のチャプターが探しやすくなります。

◆ 学習リストを使用する場合は、先にリストに設定しておく必要があります。34ページを参照して設定してください。ここでは、設定されているものとして説明します。

1 メインメニュー画面で、「リスニング」を選んで ▶II を押します。
リスニングメニュー画面が表示されます。

2 リスニングメニュー画面で、「リスニングクラブ」を選んで ▶II を押します。
リスニングクラブのメニュー画面が表示されます。

3 「学習リスト」を選んで ▶II を押します。
設定したチャプターの選択画面が表示されます。

- 設定されているチャプターがないときは「学習リストがありません。」と表示されます。|◀◀ を押してメニュー画面に戻るか、 ▶II を押してリスト編集画面へ 移って設定してください。

4 チャプターを選んで ▶II を押します。
チャプター内の英語文などが表示され、音声が再生されていきます。

- 音声再生を中止するときは ■ を押します。チャプターの選択画面に戻ります。

- ⏯ を押せば、一時停止と再開を交互に行えます。
- チャプターの先頭近くで ⏮ を押せば、学習リスト内の前のチャプター(最初のチャプター再生中は最後のチャプター)へ移動します。先頭から約3秒以上経過してから押すと、そのチャプターの先頭に戻ります。
  ⏮ を1秒以上押したままにすると、再生が巻き戻されます。
- ⏭ を押せば、学習リスト内の後のチャプター(最後のチャプター再生中は最初のチャプター)へ移動します。
  ⏭ を1秒以上押したままにすると、再生が早送りされます。
  注：再生の移動や送り、戻しを行った場合、音声の切り替わりよりも遅れて表示が切り替わります。
- (REPEAT) を押せば、再生中の節(セクション)の先頭に戻って再生します。
- 音量は ▲、▼ で調整します。最適な音量に調整してください。
- MENU を押せばメインメニュー画面に戻ります。

マーキング再生を使う

事前に文などにマーキングしておくと、マーキング再生でマーキングのあるチャプターのリスト画面からチャプターを選択し、マーキング箇所を頭出ししながら再生することができます。

マーキングをする

マーキング再生以外で、マーキングしたい文などの再生中に MARK を押すと、その文などにマーキングされます。(マーキングされたとき、画面下部に一時的に「MARK-01」などの、マーキング数が表示されます。)

◆ マーキング再生中は MARK は働きません。

1 メインメニュー画面で、「リスニング」を選んで ⏯ を押します。
リスニングメニュー画面が表示されます。

2 リスニングメニュー画面で、「リスニングクラブ」を選んで ⏯ を押します。
リスニングクラブのメニュー画面が表示されます。

3「マークリスト」を選んで ▶II を押します。

マーキングのあるチャプターがリスト表示されます。

- マーキングのあるチャプターがないときは「マーキングされたチャプターがありません。」と表示されます。⏮ を押してメニュー画面に戻ってください。

4 チャプターを選んで ▶II を押します。

チャプター内のマーキングされた箇所の音声が再生されていきます。チャプター内に複数のマーキングがある場合は、その箇所を順番に再生していきます。

- 音声再生を中止するときは ■ を押します。チャプターのリストに戻ります。
- ▶II を押せば、一時停止と再開を交互に行えます。
- ⏮ を押せば、前のマーキング箇所または前のチャプターのマーキング箇所へ移動します。前にマーキング箇所がないときは、リストの最後のチャプターのマーキング箇所へ移動します。⏮ を1秒以上押したままにすると、再生が巻き戻されます。
- ⏭ を押せば、次のマーキング箇所または次のチャプターのマーキング箇所へ移動します。次のマーキング箇所がないときは、リストの先頭のチャプターのマーキング箇所へ移動します。⏭ を1秒以上押したままにすると、再生が早送りされます。
  注：再生の移動や送り、戻しを行った場合、音声の切り替わりよりも遅れて表示が切り替わります。
- REPEAT を押せば、再生中のマーキング箇所を先頭から再生します。
- 音量は ▲、▼ で調整します。最適な音量に調整してください。
- MENU を押せばメインメニュー画面に戻ります。

『ダイアローグ1800』で学習をする

旺文社「単語・熟語ダイアローグ1800」の音声再生と、その内容の英文表示、日本語訳表示を行うことができます。

目次から単語・熟語を選ぶ

目次から単語・熟語を選んで学習しましょう。

1 メインメニュー画面で、「リスニング」を選んで ▶II を押します。

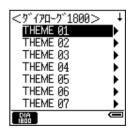
リスニングメニュー画面が表示されます。

2 リスニングメニュー画面で、「ダイアローグ1800」を選んで ▶II を押します。

ダイアローグ1800のメニュー画面が表示されます。

- 音声を再生したことがないときなどでは「続きから再生」は薄く表示されます。

3 「目次」を選んで ▶II を押します。

テーマの選択画面が表示されます。

4 **テーマ(ここでは「THEME 01」)を選んで ▶II を押します。**

チャプターの選択画面が表示されます。

<THEME 01>
Chap.001
Chap.002
Chap.003
Chap.004
Chap.005
Chap.006
Chap.007
DIA 1800

5 **チャプター(ここでは「Chap.001」)を選んで ▶II を押します。**

単語などが表示され、音声が再生されていきます。

6 **画面の英語文などの表示を日本語訳表示、文表示なしに切り替えるときは DISPLAY を押します。**

英語文表示→日本語訳表示→文表示なし→英語文表示の順に切り替わります(この表示状態は、次に切り替えるまで保持されます)。

- 音声再生を中止するときは ■ を押します。チャプターの選択画面に戻ります。
- ▶II を押せば、一時停止と再開を交互に行えます。
- チャプターの先頭近くで I◀◀ を押せば、テーマ内の前のチャプター(最初のチャプター再生中は最後のチャプター)へ移動します。先頭から約3秒以上経過してから押すと、そのチャプターの先頭に戻ります。I◀◀ を1秒以上押したままにすると、再生が巻き戻されます。
- ▶▶I を押せば、テーマ内の後のチャプター(最後のチャプター再生中は最初のチャプター)へ移動します。▶▶I を1秒以上押したままにすると再生が早送りされます。
  注:再生の移動や送り、戻しを行った場合、音声の切り替わりよりも遅れて表示が切り替わります。
- REPEAT を押せば、再生中の単語の先頭に戻って再生します。
- 音量は ▲、▼ で調整します。最適な音量に調整してください。
- MENU を押せばメインメニュー画面に戻ります。

◆ メニュー画面、選択画面(リスト画面)で、前の画面に戻るときは I◀◀ を押します。

ダイアローグ1800の日本語訳画面で使用される記号の意味などは、71ページをご覧ください。

続きから再生する

先に(前回)再生していた箇所の続きから再生を行うことができます。

1 メインメニュー画面で、「リスニング」を選んで ▶II を押します。
リスニングメニュー画面が表示されます。

2 リスニングメニュー画面で、「ダイアローグ1800」を選んで ▶II を押します。
ダイアローグ1800のメニュー画面が表示されます。

3 「続きから再生」を選んで ▶II を押します。
前回再生していた箇所の続きから再生がはじまります。

学習リストを使う

重点的に学習したいチャプターをリストに設定しておくと、そのチャプターだけを学習リストとして表示でき、目的のチャプターが探しやすくなります。

◆ 学習リストを使用する場合は、先にリストに設定しておく必要があります。34ページを参照して設定してください。ここでは、設定されているものとして説明します。

1 メインメニュー画面で、「リスニング」を選んで ▶II を押します。
リスニングメニュー画面が表示されます。

2 リスニングメニュー画面で、「ダイアローグ1800」を選んで ▶II を押します。
ダイアローグ1800のメニュー画面が表示されます。

3 「学習リスト」を選んで ▶II を押します。
設定したチャプターの選択画面が表示されます。

- 設定されているチャプターがないときは「学習リストがありません。」と表示されま

す。⏮ を押してメニュー画面に戻るか、▶II を押してリスト編集画面へ 移って設定してください。

4 チャプターを選んで ▶II を押します。

チャプター内の単語などが表示され、音声が再生されていきます。

- 音声再生を中止するときは ■ を押します。チャプターの選択画面に戻ります。
- ▶II を押せば、一時停止と再開を交互に行えます。
- チャプターの先頭近くで ⏮ を押せば、学習リスト内の前のチャプター（最初のチャプター再生中は最後のチャプター）へ移動します。先頭から約3秒以上経過してから押すと、そのチャプターの先頭に戻ります。
  ⏮ を１秒以上押したままにすると、再生が巻き戻されます。
- ⏭ を押せば、学習リスト内の後のチャプター（最後のチャプター再生中は最初のチャプター）へ移動します。
  ⏭ を１秒以上押したままにすると、再生が早送りされます。
  注：**再生の移動や送り、戻しを行った場合、音声の切り替わりよりも遅れて表示が切り替わります。**
- REPEAT を押せば、再生中の単語などの先頭に戻って再生します。
- 音量は ▲、▼ で調整します。最適な音量に調整してください。
- MENU を押せばメインメニュー画面に戻ります。

リスニング学習

マーキング再生を使う

事前に単語などにマーキングしておくと、マーキング再生でマーキングのあるチャプターのリスト画面からチャプターを選択し、マーキング箇所を頭出ししながら再生することができます。

マーキングをする

マーキング再生以外で、マーキングしたい単語などの再生中に MARK を押すと、その単語などにマーキングされます。（マーキングされたとき、画面下部に一時的に「MARK-01」などの、マーキング数が表示されます。）

◆ マーキング再生中は MARK は働きません。

1 メインメニュー画面で、「リスニング」を選んで ▶II を押します。
リスニングメニュー画面が表示されます。

2 リスニングメニュー画面で、「ダイアローグ1800」を選んで ▶II を押します。
ダイアローグ1800のメニュー画面が表示されます。

3 「マークリスト」を選んで ▶II を押します。
マーキングのあるチャプターがリスト表示されます。

- マーキングのあるチャプターがないときは「マーキングされたチャプターがありません。」と表示されます。 I◀◀ を押してメニュー画面に戻ってください。

4 チャプターを選んで ▶II を押します。
チャプター内のマーキングされた箇所の音声が再生されていきます。チャプター内に複数のマーキングがある場合は、その箇所を順番に再生していきます。

- 音声再生を中止するときは ■ を押します。チャプターのリストに戻ります。
- ▶II を押せば、一時停止と再開を交互に行えます。
- I◀◀ を押せば、前のマーキング箇所または前のチャプターのマーキング箇所へ移動します。前にマーキング箇所がないときは、リストの最後のチャプターのマーキング箇所へ移動します。
  I◀◀ を１秒以上押したままにすると、再生が巻き戻されます。
- ▶▶I を押せば、次のマーキング箇所または次のチャプターのマーキング箇所へ移動します。次のマーキング箇所がないときは、リストの先頭のチャプターのマーキング箇所へ移動します。
  ▶▶I を１秒以上押したままにすると、再生が早送りされます。
  注：再生の移動や送り、戻しを行った場合、音声の切り替わりよりも遅れて表示が切り替わります。
- REPEAT を押せば、再生中のマーキング箇所を先頭から再生します。
- 音量は ▲、▼ で調整します。最適な音量に調整してください。
- MENU を押せばメインメニュー画面に戻ります。

『マスタリー2000』で学習をする

旺文社「TOEIC® テスト 英単語・熟語マスタリー2000」の音声再生と、その内容の英文表示、日本語訳表示を行うことができます。

目次から単語・熟語を選ぶ

目次から単語などを選んで学習しましょう。

1 メインメニュー画面で、「リスニング」を選んで ▶II を押します。

リスニングメニュー画面が表示されます。

2 リスニングメニュー画面で、「マスタリー2000」を選んで ▶II を押します。

マスタリー2000のメニュー画面が表示されます。

- 音声を再生したことがないときなどでは「続きから再生」は薄く表示されます。

3 「目次」を選んで ▶II を押します。

ランクの選択画面が表示されます。

リスニング学習

4 ランク(ここでは「Rank A 0001-0450」)を選んで ⏯ を押します。

チャプターの選択画面が表示されます。

5 チャプター(ここでは「0001-0025」)を選んで ⏯ を押します。

単語などが表示され、音声が再生されます。
選択したチャプター内の単語などが順番に再生されていきます。

リスニング学習

6 画面の英単語などの表示を日本語訳表示、語表示なしに切り替えるときは DISPLAY を押します。

英語文表示→日本語訳表示→文表示なし→英語文表示の順に切り替わります(この表示状態は、次に切り替えるまで保持されます)。

- 音声再生を中止するときは ■ を押します。チャプターの選択画面に戻ります。
- ⏯ を押せば、一時停止と再開が交互に行われます。
- チャプターの先頭近くで ⏮ を押せば、ランク内の前のチャプター(最初のチャプター再生中は最後のチャプター)へ移動します。先頭から約3秒以上経過してから押すと、そのチャプターの先頭に戻ります。⏮ を1秒以上押したままにすると、再生が巻き戻されます。
- ⏭ を押せば、ランク内の後のチャプター(最後のチャプター再生中は最初のチャプター)へ移動します。⏭ を1秒以上押したままにすると再生が早送りされます。
  注：再生の移動や送り、戻しを行った場合、音声の切り替わりよりも遅れて表示が切り替わります。
- REPEAT を押せば、再生中の単語・熟語の先頭に戻って再生します。
- 音量は ▲、▼ で調整します。最適な音量に調整してください。
- MENU を押せばメインメニュー画面に戻ります。

◆ メニュー画面、選択画面(リスト画面)で、前の画面に戻るときは ⏮ を押します。

マスタリー2000の日本語訳画面で表示される記号の意味
□：類義語　◇：派生語　⇔：反対語

続きから再生する

先に（前回）再生していた箇所の続きから再生を行うことができます。

1 メインメニュー画面で、「リスニング」を選んで ▶॥ を押します。
リスニングメニュー画面が表示されます。

2 リスニングメニュー画面で、「マスタリー2000」を選んで ▶॥ を押します。
マスタリー2000のメニュー画面が表示されます。

3 「続きから再生」を選んで ▶॥ を押します。
前回再生していた箇所の続きから再生がはじまります。

リスニング学習

学習リストを使う

重点的に学習したいチャプターをリストに設定しておくと、そのチャプターだけをリストに表示して探しやすくすることができます。

◆ 学習リストを使用する場合は、先にリストに設定しておく必要があります。34ページを参照して設定してください。ここでは、設定されているものとして説明します。

1 メインメニュー画面で、「リスニング」を選んで ▶॥ を押します。
リスニングメニュー画面が表示されます。

2 リスニングメニュー画面で、「マスタリー2000」を選んで ▶॥ を押します。
マスタリー2000のメニュー画面が表示されます。

3 「学習リスト」を選んで ▶॥ を押します。
設定したチャプターの選択画面が表示されます。

- 設定されているチャプターがないときは「学習リストがありません。」と表示されます。 I◀◀ を押してメニュー画面に戻るか、▶॥ を押してリスト編集画面へ 移って設定してください。

4 チャプターを選んで ▶II を押します。
チャプター内の単語などが表示され、音声が再生されていきます。

- 音声再生を中止するときは ■ を押します。チャプターの選択画面に戻ります。
- ▶II を押せば、一時停止と再開を交互に行えます。
- チャプターの先頭近くで ⏮ を押せば、学習リスト内の前のチャプター(最初のチャプター再生中は最後のチャプター)へ移動します。先頭から約3秒以上経過してから押すと、そのチャプターの先頭に戻ります。
  ⏮ を1秒以上押したままにすると、再生が巻き戻されます。
- ⏭ を押せば、学習リスト内の後のチャプター(最後のチャプター再生中は最初のチャプター)へ移動します。
  ⏭ を1秒以上押したままにすると、再生が早送りされます。
  注：再生の移動や送り、戻しを行った場合、音声の切り替わりよりも遅れて表示が切り替わります。
- REPEAT を押せば、再生中の単語などの先頭に戻って再生します。
- 音量は ▲、▼ で調整します。最適な音量に調整してください。
- MENU を押せばメインメニュー画面に戻ります。

リスニング学習

マーキング再生を使う

事前に単語などにマーキングしておくと、マーキング再生でマーキングのあるチャプターのリスト画面からチャプターを選択し、マーキング箇所を頭出ししながら再生することができます。

マーキングをする

マーキング再生以外で、マーキングしたい単語などの再生中に MARK を押すと、その単語などにマーキングされます。(マーキングされたとき、画面下部に一時的に「MARK-01」などの、マーキング数が表示されます。)

◆ マーキング再生中は MARK は働きません。

1 メインメニュー画面で、「リスニング」を選んで ▶II を押します。
リスニングメニュー画面が表示されます。

2 リスニングメニュー画面で、「マスタリー2000」を選んで ▶II を押します。

マスタリー2000のメニュー画面が表示されます。

3 「マークリスト」を選んで ▶II を押します。

マーキングのあるチャプターがリスト表示されます。

- マーキングのあるチャプターがないときは「マーキングされたチャプターがありません。」と表示されます。I◀◀ を押してメニュー画面に戻ってください。

4 チャプターを選んで ▶II を押します。

チャプター内のマーキングされた箇所の音声が再生されていきます。チャプター内に複数のマーキングがある場合は、その箇所を順番に再生していきます。

- 音声再生を中止するときは ■ を押します。チャプターのリストに戻ります。
- ▶II を押せば、一時停止と再開を交互に行えます。
- I◀◀ を押せば、前のマーキング箇所または前のチャプターのマーキング箇所へ移動します。前にマーキング箇所がないときは、リストの最後のチャプターのマーキング箇所へ移動します。
  I◀◀ を１秒以上押したままにすると、再生が巻き戻されます。
- ▶▶I を押せば、次のマーキング箇所または次のチャプターのマーキング箇所へ移動します。次のマーキング箇所がないときは、リストの先頭のチャプターのマーキング箇所へ移動します。
  ▶▶I を１秒以上押したままにすると、再生が早送りされます。
  注：再生の移動や送り、戻しを行った場合、音声の切り替わりよりも遅れて表示が切り替わります。
- REPEAT を押せば、再生中のマーキング箇所を先頭から再生します。
- 音量は ▲、▼ で調整します。最適な音量に調整してください。
- MENU を押せばメインメニュー画面に戻ります。

設定を変える・データを削除する

「リスニングクラブ」「ダイアローグ1800」「マスタリー2000」の設定を変えることができます。

◆設定項目

〈リスニングクラブ〉	〈ダイアローグ1800〉	〈マスタリー2000〉
学習リスト編集	学習リスト編集	学習リスト編集
繰り返し再生	繰り返し再生	繰り返し再生
シャッフル	シャッフル	シャッフル
マーク削除	マーク削除	マーク削除

各操作はおおむね同じですので、ここでは「リスニングクラブ」を例に説明します。

設定メニューを表示させる

1 メインメニュー画面で、「設定」を選んで ▶II を押します。

設定のメニュー画面が表示されます。

- 「リスニングクラブ」の表示が薄いときは、データが削除(☞ 60ページ)されたなどにより使用できません。この場合はリカバリー(☞ 62ページ)を行えば元の状態に戻せます。

2 コンテンツ(ここでは「リスニングクラブ」)を選んで ▶II を押します。

各コンテンツの設定メニューが表示されます。
このメニューから設定する項目を選びます。

リスニングクラブ設定メニュー

学習リストを編集する

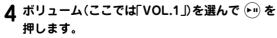
学習リストに表示させたいチャプターなどの設定（追加）／解除を行います。

【リストに追加する】

1 リスニングクラブ設定メニューで「学習リスト編集」を選んで ▶II を押します。
編集／削除の選択画面が表示されます。

2 「学習リスト編集」を選んで ▶II を押します。
コース選択のメニュー画面が表示されます。

- 「ダイアローグ1800」、「マスタリー2000」ではコース選択に相当する画面はなく、次のボリューム選択に相当する画面が表示されます。

3 例えば「ビギナーズ」を選んで ▶II を押します。
ボリューム（巻）の選択画面が表示されます。

4 ボリューム（ここでは「VOL.1」）を選んで ▶II を押します。
チャプターの選択／解除画面が表示されます。

5 リストに追加したいチャプター名を選んで ▶II を押します。

選んだチャプターの左のチェックボックスにチェックが入ります。

6 手順5の操作で、リストに追加するチャプター名すべてにチェックを入れます。

- 「全てのチャプター」にチェックを入れた場合は、各チャプター名のすべてにチェックが入ります。
- チェックを入れたチャプター名からチェックを外すときも、そのチャプター名を選んで ▶II を押します。

7 他のボリュームのチャプターを選ぶ場合は、⏮ でボリュームの選択画面に戻って選び直します。
編集を終了する場合は MENU を押してメインメニューに戻ります。

【リストから削除する】

【リストに追加する】で、チェックを入れたチャプターのチェックを外します。

1 リスニングクラブ設定メニューで「学習リスト編集」を選んで ▶II を押します。

編集／削除の選択画面が表示されます。

2 「リストから削除」を選んで ▶II を押します。

削除選択画面が表示されます。

3 削除したいチャプター名を選んで ▶II を押します。

削除の確認画面が表示されます。

4 「はい」を選んで ⏯ を押します。

チェックが外れ、削除選択画面に戻ります(チェックが外れたチャプターは削除選択画面から消えます)。

- 「全てのチャプター」を選んで削除した場合は、学習リストに表示されるチャプターがなくなります(「学習リストがありません。」と表示)。

繰り返し再生を設定する

繰り返し再生の設定では次の項目が選択できます。

オフ ：繰り返し再生を行いません。

1チャプター／マーク
：再生を開始したチャプターや、マーキングされたチャプターの節、単語を繰り返し再生します。

全チャプター／マーク
：再生を開始すると、テーマ内の全チャプターや、マーキングされたチャプターの節、単語を順番に、停止させるまで繰り返し再生します。

1 リスニングクラブ設定メニューで「繰り返し再生」を選んで ⏯ を押します。

繰り返し再生の設定画面が表示されます。

2 設定したい再生のしかたを選んで ⏯ を押します。

リスニングクラブ設定メニューに戻ります。

リスニング学習

シャッフルを設定する

テーマ内のチャプターを順番に再生するか、毎回、ランダムに再生するかを選ぶことができます。

オフ：順番に再生　　オン：ランダムに再生

1 リスニングクラブ設定メニューで「シャッフル」を選んで ▶II を押します。
シャッフルの設定画面が表示されます。

2 「オン」または「オフ」を選んで ▶II を押します。
リスニングクラブ設定メニューに戻ります。

マークを削除する

チャプター内の文などに付けたマーキング情報を消去します

1 リスニングクラブ設定メニューで「マーク削除」を選んで ▶II を押します。
マーク削除の選択画面が表示されます。

2 削除したいチャプターを選んで ▶II を押します。
削除の確認画面が表示されます。

- 「全てのマーク」を選んだ場合は、全てのチャプターが削除の対象になります。

3 「はい」を選んで ▶II を押します。
対象のマーキング情報が消去され、マーク削除の選択画面に戻ります。（マーキングされたチャプターがなくなると「マーキングされたチャプターがありません。」と表示します。）

ボイスレコーダーを使う

ボイスレコーダーとして、音声の録音・再生ができます。

録音をする

◆録音の準備

本体に内蔵しているマイク(内蔵マイク)を使って録音することができます。
大切な録音を行う前に、**試し録音**をして、録音音質、録音レベルが適正か確認・設定を行ってください(設定方法：☞42、43ページ)。
音源からの距離や音の大きさに合わせて、録音レベルが適正に設定されていないと、録音が小さすぎたり、大きすぎて音がひずむことがあります。また、周囲環境によって雑音が入りやすくなります。

◆録音の操作

1 メインメニュー画面で、「ボイスレコーダー」を選んで ▶II を押します。
ボイスレコーダーのメニュー画面になります。

2 「録音」を選んで ▶II を押します。
録音開始待ちの画面になります。

ボイスレコーダー

3 **● REC を押して録音を開始します。**

録音が開始され、録音中画面になります。

ファイル名
録音時間：録音を開始してからの経過時間
残り時間：録音可能な残り時間

4 **録音を終了するときは ■ を押します。**

ファイル名のリスト(ボイスリスト)画面になります。

- 録音を一時停止するときや再開するときは ▶II を押します。

- **録音されたデータは「VO001.WAV、VO002.WAV…」と順番にファイル名が付けられて保存されます。**

◆ メニュー画面、選択画面(リスト画面)、録音開始待ち画面で、前の画面に戻るときは I◀◀ を押します。

参　考
録音中にヘッドホンで聞こえる音量は、録音される音量とは異なります。録音音量を確認するときは、録音した音声などを再生して確認してください。録音レベルの設定方法は42ページをご覧ください。

パソコンへ録音データをバックアップしたい…

本機内の録音データ(ファイル)をパソコンにバックアップ(保存)するときは、本機をパソコンに接続し(☞56ページ)、「マイコンピュータ」を開いて「SHARP_LTOOL」内の「VOICE」フォルダから、データをパソコン側へコピーしてください。

- パソコンへコピーしたファイルの日付けは、すべて「2006/01/01 0:00」と表示されます。

録音した音声を再生する

録音したボイスレコーダーの音声を再生します。

1 メインメニュー画面で、「ボイスレコーダー」を選んで ▶II を押します。

ボイスレコーダーのメニュー画面が表示されます。

- 音声を再生したことがないときなどでは「続きから再生」は薄く表示されます。

2 「ボイスリスト」を選んで ▶II を押します。

録音データ(ファイル)のリスト(ボイスリスト)が表示されます。

3 ファイル名を選んで ▶II を押します。

音声が再生されます。

- 再生を止めるときは ■ を押します。再生を停止してボイスリストに戻ります。

- ▶II を押せば、一時停止と再開を交互に行えます。
- ファイルの先頭近くで I◀◀ を押せば、リスト内の前のファイル(または最後のファイル)へ移動します。先頭から約3秒以上経過してから押すと、そのファイルの先頭に戻ります。

  I◀◀ を1秒以上押したままにすると、再生が巻き戻されます。
- ▶▶I を押せば、リスト内の次のファイル(または先頭のファイル)へ移動します。

  ▶▶I を1秒以上押したままにすると、再生が早送りされます。
- 音量は ▲、▼ で調整します。最適な音量に調整してください。

続きから再生する

先に(前回)再生していた録音データ(ファイル)の続きから再生を行うことができます。

1 メインメニュー画面で、「ボイスレコーダー」を選んで ▶II を押します。

ボイスレコーダーのメニュー画面が表示されます。

2 「続きから再生」を選んで ▶II を押します。

前回再生していた録音データの続きから再生がはじまります。

● 再生を止めるときは ■ を押します。再生を停止してボイスリストに戻ります。

ご注意：ボイスレコーダーにはEQ(イコライザー)、マーク再生、シャッフルの各機能はありません。

設定を変える・録音データを削除する

ボイスレコーダーの設定を変えることができます。また、録音データ(ファイル)を削除することができます。

ボイスレコーダー設定メニューを表示させる

1 メインメニュー画面で、「設定」を選んで ▶II を押します。

設定のメニュー画面が表示されます。

2 「ボイスレコーダー」を選んで ▶II を押します。

ボイスレコーダー設定メニューが表示されます。

このメニューから設定する項目を選びます。

録音レベルを設定する

1 ボイスレコーダー設定メニューで「録音レベル」を選んで ▶II を押します。

録音レベルの設定画面が表示されます。

2 設定したいレベルを選んで ▶II を押します。

ボイスレコーダー設定メニューに戻ります。

ボイスレコーダー

録音音質を設定する

1 ボイスレコーダー設定メニューで「録音音質」を選んで ▶II を押します。

録音音質の設定画面が表示されます。

2 設定したいレベルを選んで ▶II を押します。

ボイスレコーダー設定メニューに戻ります。

録音時の形式、音質は次のようになります。

録音形式：WAV(MS ADPCM)形式
音質「高」：129kbps
音質「中」： 89kbps
音質「低」： 64kbps

ボイスレコーダー

繰り返し再生を設定する

繰り返し再生の設定では次の項目が選択できます。

オフ　：繰り返し再生を行いません。
１ファイル：再生を開始した録音データ（ファイル）を繰り返し再生します。
全ファイル：再生を開始すると、ボイスリスト内の全録音データ（全ファイル）を順番に、停止させるまで繰り返し再生します。

1 ボイスレコーダー設定メニューで「繰り返し再生」を選んで ▶II を押します。

繰り返し再生の設定画面が表示されます。

2 設定したい再生のしかたを選んで ▶II を押します。

ボイスレコーダー設定メニューに戻ります。

録音データ(ファイル)を削除する

不要になった録音データ(ファイル)を１件ずつ削除します。

1 ボイスレコーダー設定メニューで「ファイル削除」を選んで ▶॥ を押します。

削除ファイル選択画面が表示されます。

2 削除したいファイルを選んで ▶॥ を押します。

削除確認画面が表示されます。

3 削除する場合は「はい」を選んで ▶॥ を押します。

指定したファイルが削除され、削除ファイル選択画面に戻ります。

ボイスレコーダー

音楽ファイルを再生する

パソコンから取り込んだ、WMA形式、MP3形式の音楽ファイルを再生することができます。

● パソコンから音楽データを取り込む方法は58ページを参照してください。

音楽などを聞く

1 メインメニュー画面で、「音楽/ファイル」を選んで ►II を押します。

「音楽/ファイル」のメニュー画面が表示されます。

● 音楽を再生したことがないときは「続きから再生」は薄く表示されます。

2 「音楽/ファイルリスト」を選んで ►II を押します。

ROOTの内容(「MUSIC」フォルダおよび音楽ファイル)が表示されます。

● この画面で表示されるフォルダは「MUSIC」フォルダだけです(次ページ「ご注意」参照)。

3 「MUSIC」フォルダを選んで ►II を押します。

フォルダおよび音楽ファイルのリスト画面が表示されます。

● ファイル名などが長くて表示しきれない場合は、カーソルをそのファイル名に移すと左にスクロールして表示します。

音楽／ファイル

4 目的のファイルを選んで ▶II を押します。

音楽の再生が開始されます。

- フォルダを開く場合は、フォルダ名を選んで ▶II を押します。
- ファイル名やアルバム名などが長い場合は、左にスクロールして表示します。
- 再生を止めるときは ■ を押します。再生を停止してリスト画面に戻ります。

久保田ヨウスケ
恋のまにまに漂う心
五月の雨はうれし色
00:00:01/00:03:24
♪FILE 001/016 ▶NOR

- ▶II を押せば、一時停止と再開を交互に行えます。
- ファイルの先頭近くで ⏮ を押せば、リスト内の前のファイル（または最後のファイル）へ移動します。先頭から約3秒以上経過してから押すと、そのファイルの先頭に戻ります。

  ⏮ を１秒以上押したままにすると、再生が巻き戻されます。
- ⏭ を押せば、フォルダ内の後のファイル（または最初のファイル）へ移動します。

  ⏭ を１秒以上押したままにすると、再生が早送りされます。
- 音量は ▲、▼ で調整します。最適な音量に調整してください。

◆ メニュー画面、選択画面（リスト画面）で、前の画面に戻るときは ⏮ を押します。

ご注意： 手順2の画面では「MUSIC」フォルダおよび音楽ファイルのみが表示され、他のフォルダは表示されません。「MUSIC」フォルダと同じ階層に別のフォルダを作って音楽ファイルを入れると、その音楽ファイルは再生できませんので、フォルダを作る場合は「MUSIC」フォルダ内に作ってください。

続きから再生する

先に（前回）再生していた音楽の続きから再生を行うことができます。

1 メインメニュー画面で、「音楽/ファイル」を選んで ▶II を押します。

「音楽/ファイル」のメニュー画面が表示されます。

2 「続きから再生」を選んで ▶II を押します。

前回再生していた音楽（ファイル）の続きから再生がはじまります。

- 再生を止めるときは ■ を押します。再生を停止してリスト画面に戻ります。

設定を変える・データを削除する

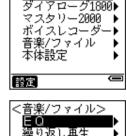
音楽ファイル再生の設定を変えることができます。また、音楽データ(ファイル)を削除することができます。

音楽/ファイル設定メニューを表示させる

1 メインメニュー画面で、「設定」を選んで ⏯ を押します。

設定のメニュー画面が表示されます。

2 「音楽/ファイル」を選んで ⏯ を押します。

音楽/ファイル設定メニューが表示されます。
このメニューから設定する項目を選びます。

EQ(イコライザー)を設定する

音楽再生時の音質を次のパターンから選ぶことができます。

ノーマル　ジャズ　ロック　クラシック　ポップ　バス

1 音楽/ファイル設定メニューで「EQ」を選んで ⏯ を押します。

EQの設定画面が表示されます。

2 設定したい音質パターンを選んで ⏯ を押します。

音楽/ファイル設定メニューに戻ります。

音楽/ファイル

繰り返し再生を設定する

繰り返し再生の設定では次の項目が選択できます。

オフ	：繰り返し再生を行いません。
1ファイル	：再生を開始した音楽データ（ファイル）を繰り返し再生します。
全ファイル	：再生を開始すると、フォルダ内の全音楽データ（全ファイル）を順番に、停止するまで繰り返し再生します。

1 音楽/ファイル設定メニューで「繰り返し再生」を選んで ▶II を押します。

繰り返し再生の設定画面が表示されます。

2 設定したい再生のしかたを選んで ▶II を押します。

音楽/ファイル設定メニューに戻ります。

シャッフルを設定する

音楽再生時に、フォルダ内の音楽データを順番に再生するか、毎回、順番を変えて（ランダムに）再生するかを選ぶことができます。

オフ：順番に再生　　オン：順番を変えて再生

1 音楽/ファイル設定メニューで「シャッフル」を選んで ▶II を押します。

シャッフルの設定画面が表示されます。

2 **「オン」または「オフ」を選んで ⏯ を押します。**
音楽/ファイル設定メニューに戻ります。

歌詞表示を設定する

音楽ファイルには、歌詞のデータが収録されているものがあります。歌詞表示をオンにすると歌詞を表示させることができます。

オフ　：曲名やアルバム名などを表示させます。
オン　：歌詞を表示させます。

- 歌詞表示を「オン」に設定して歌詞データのない音楽を再生すると、「歌詞情報がありません。」と表示されます。
  歌詞表示のない音楽を再生するときは「オフ」に設定してください。

1 **音楽/ファイル設定メニューで「歌詞表示」を選んで ⏯ を押します。**
歌詞表示の設定画面が表示されます。

2 **「オン」または「オフ」を選んで ⏯ を押します。**
音楽/ファイル設定メニューに戻ります。

音楽/ファイル

本製品全体に関わる設定をする

本製品を使いやすくするための各種の設定（本体設定）を行います。

再生スピード	：51ページ	フェードインボリューム	：53ページ
オートパワーオフ	：51ページ	オートリピート	：54ページ
スリープタイマー	：52ページ	累積学習時間	：54ページ
バックライトオフ	：52ページ	設定の初期化	：55ページ
コントラスト	：53ページ	製品情報	：55ページ

本体設定メニューを表示させる

1 **メインメニュー画面で、「設定」を選んで ▶II を押します。**
設定のメニュー画面が表示されます。

2 **「本体設定」を選んで ▶II を押します。**
本体設定メニューが表示されます。
このメニューから設定する項目を選びます。

<本体設定>
再生スピード
オートパワーオフ
スリープタイマー
バックライトオフ
コントラスト
フェードインボリューム
オートリピート
設定

再生スピードを設定する

音声や曲の再生スピードを「速い」「普通」「遅い」の3種類で切り替えることができます。

- ボイスレコーダーの再生スピードは一定で、切り替わりません。

1 **本体設定メニューで「再生スピード」を選んで ▶II を押します。**
再生スピードの設定画面が表示されます。

2 **「速い」「普通」「遅い」のいずれかを選んで ▶II を押します。**
本体設定メニューに戻ります。

オートパワーオフの設定

再生や録音を行っていないとき、キー操作がないと自動的に電源が切れる、オートパワーオフ時間を設定します。
また、オートパワーオフ機能が働かないようにも設定できます。

1 **本体設定メニューで「オートパワーオフ」を選んで ▶II を押します。**
オートパワーオフの設定画面が表示されます。

2 **時間などを選んで ▶II を押します。**
本体設定メニューに戻ります。

- 「オフ」に設定した場合、オートパワーオフ機能による電源オフは行われません。

スリープタイマーの設定

音楽などの再生中に自動的に電源を切るスリープタイマーを設定します。

1 本体設定メニューで「スリープタイマー」を選んで ▶II を押します。

スリープタイマーの設定画面が表示されます。

2 時間などを選んで ▶II を押します。

本体設定メニューに戻ります。

- 「オフ」に設定した場合、スリープタイマーによる電源オフは行われません。

バックライトオフの設定

キー操作がないときに画面のバックライト（ランプ）を自動的に消す時間を設定します。

1 本体設定メニューで「バックライトオフ」を選んで ▶II を押します。

バックライトオフ時間の設定画面が表示されます。

2 時間を選んで ▶II を押します。

本体設定メニューに戻ります。

- バックライトはキー操作を行わないと、上記の設定時間が経過すると消灯します。ただし、次の場合は、再生を開始したチャプターまたは節（マーク再生時）、曲などの再生が終わるまで点灯を続けます。
  - キー操作によりチャプターまたは節の再生などを開始した場合（マーク再生などで、オートリピートが設定されているときは、その回数分の再生を含む）。
  - 歌詞表示がオンのとき、歌詞データ付きの曲を再生した場合。

コントラストの調整

画面の濃度(コントラスト)を調整します。見易い濃さになるよう調整してください。

1 **本体設定メニューで「コントラスト」を選んで ▶II を押します。**
コントラストの調整画面が表示されます。

2 **▲、▼ を押して見易い濃さになるように調整します。**
- ▲、▼ を押したままにすると連続的に濃度が変わります。

3 **▶II を押して調整を終了します。**
本体設定メニューに戻ります。

フェードインボリュームの設定

急に大音量が出て耳を痛めることを防ぐため、電源を入れた後、最初に音が出るときに徐々に音を大きくしていくフェードインボリューム機能をオン／オフします。

1 **本体設定メニューで「フェードインボリューム」を選んで ▶II を押します。**
フェードインボリュームの設定画面が表示されます。

2 **「オン」または「オフ」を選んで ▶II を押します。**
本体設定メニューに戻ります。

オートリピートの設定

各コンテンツで、節や単語を再生する回数を設定します。節や単語を再生したとき、自動的に設定した回数の再生を行います。

オフ：オートリピートを設定しません(1回再生)

2回：2回再生を設定　　**3回**：3回再生を設定

1 **本体設定メニューで「オートリピート」を選んで ▶II を押します。**
オートリピートの設定画面が表示されます。

2 **再生回数などを選んで ▶II を押します。**
本体設定メニューに戻ります。

累積学習時間を確認する

リスニングの累積の学習時間を確認することができます。

また、累積学習時間を0に戻すことができます。

1 **本体設定メニューで「累積学習時間」を選んで ▶II を押します。**
累積学習時間※が表示されます。

- メニューの「累積学習時間」は下に隠れていますので、▼ でカーソルを下に移動させて表示させてください。
- 本体設定メニューに戻るときは ⏮ を押します。

※累積学習時間は、リスニングメニュー画面を表示させた時点から、学習を終えてメインメニュー画面に戻ったとき、または電源が切れたときまでの時間の累積です。したがって、すべての時間が学習に費やされたものではありません。

2 **学習時間を0に戻す(リセットする)ときは ▶II を押します。**
リセットの確認画面が表示されます。

本体設定

3 「はい」または「いいえ」を選んで ⏯ を押します。

本体設定メニューに戻ります。

設定の初期化

各コンテンツの設定も含めて本体設定をすべて最初の状態に戻します（学習リストやマーキング情報は除く）。

1 本体設定メニューで「設定の初期化」を選んで ⏯ を押します。

設定の初期化画面が表示されます。

- メニューの「設定の初期化」は下に隠れていますので、▼ でカーソルを下に移動させて表示させてください。

2 「初期化する」を選んで ⏯ を押します。

本体設定メニューに戻ります。

製品情報の確認

本製品の製品情報を表示させます。

1 本体設定メニューで「製品情報」を選んで ⏯ を押します。

製品情報画面が表示されます。

- メニューの「製品情報」は下に隠れていますので、▼ でカーソルを下に移動させて表示させてください。
- 製品情報は3画面あります。▼、▲で画面を送って確認してください。

2 確認後 ⏯ を押します。

本体設定メニューに戻ります。

本体設定

注) 製品情報のファイル数は、リスニングクラブのデータやシステムが利用するファイルが含まれるため、お買いあげ時の状態でも０ではありません。

パソコンに接続する

パソコンに本機を接続し、パソコンから音楽データを取り込んだり、本機で録音したボイスレコーダーの録音データをパソコンにバックアップすることができます。また、削除したリスニングクラブのデータ(☞ 60ページ)が必要になったときなどには、付属のCD-ROMを使って本機に入れなおすことができます。

必要なパソコンのシステム構成

本機を接続して音楽データなどを取り込む(コピーする)などの操作に必要なパソコンのシステム構成は次のとおりです。

対応機種：IBM PC/AT互換機
OS　　　：Microsoft® Windows® の次のバージョン
　　　　　XP Home Edition、XP Professional、2000 Professional、
　　　　　Millennium Edition、98 Second Edition
その他　：USBインタフェース、CD-ROMドライブ

OSが **Microsoft® Windows® 98 Second Edition の場合は**、付属のCD-ROMに収録されているUSB対応ドライバをインストールしてから、下記の接続を行ってください。(☞ 61ページ)

パソコンに接続する／取り外す

接続する

パソコンが起動している状態で、付属のUSB対応ケーブルを図の①②の順番で本機とパソコンに接続します。

(本機に差し込むときはコネクタの ⬆ マークがある面を上に向けて差し込んでください。)

パソコンに接続すると本機の画面が**LINK画面**(接続中画面)になります。

パソコン接続

- USBコネクタが入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。無理に差し込むと故障の原因になります。
- データ転送中はUSBケーブルを抜かないでください。
- LINK画面になっているときは、本機のすべてのキーが働きませんので、キーを操作しないでください。

パソコンから、本機の充電池を充電する

付属のUSB対応ケーブルでパソコンと本機を接続すると、パソコンから本機に電力が供給され、充電池が充電されます。
ただし、パソコンによっては、充電できない場合があります。

取り外す

パソコンから安全に取り外すために、以下の手順を行います。
(Microsoft® Windows® XP Home Editionを例に説明しています。それ以外のOSをお使いの際は、操作が一部異なります。市販の解説書を参照してください。)

1 パソコン上のタスクバーにある「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをダブルクリックします。

2 本機に該当する「USB 大容量記憶装置デバイス」をクリックし、[停止]ボタンをクリックします。

3 「USB 大容量記憶装置デバイス」をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

4 [閉じる]ボタンをクリックします。

パソコンから本機を取り外してください。

- 本機からUSBコネクタを抜いたとき、ごく稀に本機の画面がLINK画面のままになることがあります。そのときは、本機の裏面にあるRESETスイッチをボールペンなどで押してから MENU を押し、電源を入れてください。

音楽などを本機に取り込む

CDなどの音楽を本機に取り込む場合は、Microsoft® Windows Media® Player 10などを使って、音楽CDのデータをいったんパソコンに取り込みます。そして、そのデータを本機に転送します。

◆CDから音楽をパソコンに取り込む手順

1 パソコンで Microsoft® Windows Media® Player 10を起動させます。

2 CDをパソコンに挿入します。

3 「取り込み」タブをクリックします。

4 取り込みたい曲を選択して「音楽の取り込み」ボタンをクリックします。

パソコンへの取り込みが開始されます。

- インターネットに接続された状態にすると、アルバム名や、アーティスト名などが自動的に表示されます。
- 取り込んだ曲は、[ライブラリ]タブをクリックして確認することができます。
- 取り込みの方法等、詳しくはヘルプや市販の解説書などを参照してください。
- コピー防止機能を持ったCDは取り込むことができません。
- 著作権保護のため、CDの音楽データを取り込む際は複製を制限する設定を行ってください。
  詳しくは市販の解説書を参照してください。

◆メディアプレーヤーでデータを転送する

Microsoft® Windows Media® Player 10 の同期機能などを利用して、パソコンから本機へ音楽データを転送します。

1 パソコンで Microsoft® Windows Media® Player 10 を起動させます。

2 [同期]タブをクリックします。

3 「再生リストの編集」ボタンをクリックします。

再生リストの編集画面が表示されます。

パソコン接続

4 **本機に転送したい音楽データを選択し、「OK」ボタンをクリックします。**

5 **フォルダ階層を作って同期(転送)するため、設定をし直します。**

①「同期」タブ画面にある「プロパティと設定を表示します」ボタンをクリックします。
②「リムーバブルディスクのプロパティ」で、「デバイスにフォルダ階層を作成する」にチェックがついているときは、チェックを外します。
③「適用」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリックしてウインドウを閉じます。
④もう一度手順①を行います。
⑤「リムーバブルディスクのプロパティ」で、「デバイスにフォルダ階層を作成する」にチェックを入れます。
⑥「適用」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリックしてウインドウを閉じます。

- 手順②〜④の操作は、「デバイスにフォルダ階層を作成する」にチェックがついていても機能が働かない場合があるために行う操作です。チェックが付いていない場合は、手順⑤、⑥の操作でチェックをつけてください。

「プロパティと設定を表示します」ボタン

「デバイスにフォルダ階層を作成する」チェックボックス

6 **「同期の開始」ボタンをクリックします。**

選択した音楽データが本機に転送されます。

◆ファイルコピーの操作でデータなどをコピーする

本機をパソコンに接続すると、パソコンのUSB外部ドライブ(リムーバブルディスク)として認識され、パソコンから本機にファイル(データ)をコピーすることができます。

1 **本機をパソコンに接続し、「マイコンピュータ」をダブルクリックします。**

2 **「SHARP_LTOOL」をダブルクリックします。**

3 **必要なファイルを「SHARP_LTOOL」の中にコピーします。**

- この方法で音楽データ(MP3など)をコピーすることができますが、著作権を侵害する恐れがありますので、Microsoft® Windows Media® Player 10などをお使いになることをお勧めします。
- ファイルは「MUSIC」フォルダ内または「SHARP_LTOOL」(ROOT)内にコピーし、「MLC」、「VOICE」など、他のフォルダにはコピーしないでください。
  フォルダ構成については、64ページを参照ください。
  なお、「MUSIC」フォルダと同じ階層の他のフォルダは、「音楽/ファイル」では表示されません。
- 著作権保護がかけられているデータはファイルコピーの操作によりコピーを行っても再生できません。

リスニングクラブのデータを削除する

学習が終わって、不要になったリスニングクラブのデータは、削除してメモリを空けることができます。必要になったときは62ページの方法で戻せます。

1 **本機をパソコンに接続し、「マイコンピュータ」をダブルクリックします。**

2 **「SHARP_LTOOL」をダブルクリックします。**

3 **「MLC」をダブルクリックして開き、中の「1_BEGIN」(ビギナーズ)または「2_BASIC」(ベーシック)フォルダを削除します。**

注：「1_BEGIN」、「2_BASIC」フォルダ内のファイルを一つでも削除したり、書き換えたりすると、そのコンテンツは使用できなくなりますので、ファイルを操作しないでください。

USB対応ドライバをインストールする

Microsoft® Windows® 98 Second Edition をお使いの場合にのみインストールしてください。他のOSをご使用の場合はインストールしないでください。

◆ドライバのインストール

ドライバをインストールする前に本機をパソコンに接続しないでください。

1 パソコンのCD-ROMドライブに付属のCD-ROMをセットします。

自動的にプログラムが起動し、右の画面が表示されます。

プログラムが自動的に起動しない場合は、エクスプローラからCD-ROMを開き「installer.exe」ファイルを実行してください。

2 画面内の「ドライバのインストール」ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

- 画面の指示にしたがってインストールを行ってください。
- インストールが完了したら「完了」をクリックします。

インストールした後は、必要に応じてパソコンを再起動させてください。

本製品をお買いあげ時の状態に戻す

本製品内の音楽データや録音データを消去し、各種の設定内容、「リスニングクラブ」のデータも含めて、お買いあげ時の状態に戻すことができます。

付属のCD-ROMのリカバリーツールを使って行います。

1 本製品をパソコンに接続します。
56ページを参照して接続してください。

2 パソコンのCD-ROMドライブに付属のCD-ROMをセットします。
自動的にプログラムが起動し、右の画面が表示されます。

プログラムが自動的に起動しない場合は、エクスプローラからCD-ROMを開き「installer.exe」ファイルを実行してください。

3 画面内の「コンテンツのリカバリー」ボタンをクリックします。
リカバリーが開始されます。
- 画面の指示にしたがって操作を行ってください。

ご注意： リカバリーを行うと、ボイスレコーダーの録音データや音楽データなども消去されますので、大切なデータ(ファイル)はパソコンにバックアップ(コピー)して保存してください。

パソコン接続

参考にしていただきたいこと

異常が発生したときの処理

ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けたときなど、ごくまれにすべてのキーが働かなくなるなどの異常が発生することがあります。
このときは、本機の裏面にあるRESETスイッチをボールペンなどで押して離したあと、MENU を押してください。

- RESETスイッチを押しただけでは、表示は変わりません。

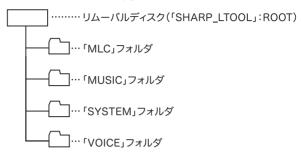
充電池について

充電池は消耗品です。充放電を繰り返すうちに劣化し、使用時間が極端に短くなります（常温で約350回が目安です）。
充電池の劣化は、使用状況や動作環境によって異なります。
満充電にしても極端に使用時間が短くなったときは、充電池の寿命ですので交換してください。この製品の充電池はお客様では交換できませんので、製品に同梱しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧のうえ、もよりのサービス会社へお申し付けください。
充電池の交換は有償となります。

廃棄するときのお願い

この製品に使用しているリチウムポリマー充電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。この製品の廃棄に際しては、もよりのサービス会社へお申し付けください。

パソコン接続時のフォルダ構成について

本機をパソコンに接続すると、Windows上では、下記のようなフォルダが保存されたリムーバブルディスクとして見えます。

「MLC」フォルダ：「リスニングクラブ」の各コースのデータ（ファイル）が入っています。

このデータを一部でも削除すると、そのコースの再生はできなくなります。その場合は、必要に応じて、付属のCD-ROMからコピーする、または、62ページの方法でお買いあげ時の状態に戻してください。

「MUSIC」フォルダ：「音楽/ファイル」で扱う音楽ファイルが入ります。

Microsoft® Windows Media® Player 10 で同期を行うと、「MUSIC」フォルダ内にアーティスト名フォルダが作られ、その中にアルバム名フォルダが作られて、音楽ファイルが入ります。
(☞ 音楽などを本機に取り込む方法は58～60ページを参照ください。)

なお、「MUSIC」フォルダ内にフォルダを作り、その中にフォルダを作る(3段まで作る)ことができます。もし、「MUSIC」フォルダを含めて4段以上深くフォルダを作った場合、**4段目以降のフォルダは「音楽/ファイル」で表示させることができません**のでご注意ください。

「SYSTEM」フォルダ：このフォルダは、本製品のシステムが使用し、各種設定情報、管理情報が格納されます。

「VOICE」フォルダ：ボイスレコーダーで録音した、録音データ（ファイル）が入ります。

これらのフォルダの名前は変更しないでください。

音楽配信サイトからの音楽の購入について

本機は、音楽配信サイトから購入した音楽データを取り込んで、聞くことができます。

音楽配信サイトから音楽データを購入される際は、次の事項にご注意ください。

- WMA形式の音楽ファイルを配信しているサイトをご利用ください。
- ＷＭＡ形式以外で配信されている音楽データは、本機では再生できません。（WMA形式以外で配信されている音楽データを、WMA形式に変換することもできません。）

なお、音楽配信サイトからの購入方法やダウンロードのしかたなどは、音楽配信サイトの情報を参照ください。

購入した音楽データを本機で聞くためには、Microsoft® Windows Media® Player10などを利用して、本機へ音楽データをコピーします。

1 **パソコンで、Microsoft® Windows Media® Player10 を起動します。**

2 **[ライブラリ]タブをクリックします。**

3 **画面左下の[ライブラリに追加]をクリックし、表示されるメニューから[ファイルまたは再生リストを追加]を選択します。**

4 **購入した音楽データを指定して、[開く]をクリックします。**

5 **「同期」でデータを本機に転送します。（☞ 58ページ）**

仕　様

本体

形名	PA-L100
品名	リスニング端末
内蔵メモリー	256MB（ユーザー領域：約135MB※1　出荷時の空き容量：約49MB）
充電時間	約4時間（ACアダプター使用時、使用温度25℃）
入出力端子	ヘッドホン端子（φ2.5）　専用ミニUSB端子
対応ファイル	ファイル形式 WMA、MP3（ボイスレコーダーは WAV(MS ADPCM)）
取扱ファイル数	最大460ファイル※2
取扱フォルダ数	最大48フォルダ※2（MUSICフォルダ以下3階層（3段）まで）
再生時間	約20時間連続再生可能（再生条件　リスニングクラブ再生、音量：15、バックライト：オフ、使用温度25℃） ※ 使用環境や使用方法により、再生時間が短くなることがあります。
最大録音時間※3	約 4時間（録音条件 録音音質：低(64kbps)）
使用温度	0℃～40℃
最大出力	5mW
使用電源	リチウムポリマー内蔵充電池（約580ｍAh）
消費電力	2.4W
外形寸法	幅54mm×高さ91mm×厚さ9.9mm
質量	約71g
付属品	ACアダプター、ヘッドホン（イヤパッド付き）、USB対応ケーブル、CD-ROM、ソフトケース、取扱説明書、お客様ご相談窓口のご案内

付属ケーブル

USB対応ケーブル	約145cm	ヘッドホン	約145cm

※1：リスニングクラブのデータが記憶されている領域も含みます。

※2：「リスニングクラブ」「ボイスレコーダー」「音楽/ファイル」の合計。
ファイルサイズが大きいときは、これらの数より先にメモリーが一杯になることがあります。

※3：最大録音時間はメモリーのユーザー領域をすべて録音に使用した場合です。

付属ACアダプター(EA-77)

入力	AC100V 50/60Hz	定格出力	DC5V、0.5A

ボイスレコーダー録音について

録音方式	モノラル録音	ファイル形式	WAV(MS ADPCM)形式
録音音質初期設定	中	録音レベル初期設定	中

ボイスレコーダーの録音音質と最大録音時間

録音音質	高(129kbps)	中(89kbps)	低(64kbps)
最大録音時間	約2時間	約3時間	約4時間

●最大録音時間は、メモリーのユーザー領域をすべて録音に使用した場合です。

収録データについて

Monthly Listening Club for BEGINNERS	：	Vol.1～Vol.6※1
Monthly Listening Club BASIC COURSE	：	2005年3月号～2005年6月号※2
英単語・熟語ダイアローグ1800※3	：	単熟語数…約1,800単熟語 対話………110対話文
TOEIC® テスト英単語・熟語マスタリー2000	：	単熟語数…2,000単熟語 例文………2,000例文

※1　音楽トラック、LISTENING TEST は未収録です。
※2　一部のBGM、音楽トラック、LISTENING COMPREHENSION は未収録です。
※3　ダイアローグとその関連単語のみ収録しています。

アフターサービスについて

保証について

1. **この製品には取扱説明書の巻末に保証書がついています。**
   保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. **保証期間は、お買いあげの日から1年間です。**
   保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. **保証期間後の修理は…**
   修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

- 当社はリスニング端末の補修用性能部品を製品の製造打切後7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

1. 異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店にこの製品を **お持込み** のうえ、修理をお申しつけください。ご自分での修理はしないでください。
2. アフターサービスについてわからないことは･･･
   お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、もよりのお客様ご相談窓口へお申しつけください。
付属の「お客様ご相談窓口のご案内」のとおり、全国にお客様ご相談窓口を設けております.

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、68ページの「アフターサービスについて」をご覧のうえ修理を依頼してください。

こんなときは	ここをお確かめください
電源が入らない	● 充電されていますか？ 充電してから電源を入れてください。（10ページ）
キーを押しても動作しない	● 本機の HOLD キーがホールド側になっていませんか？
電源を入れても、すぐに電源がオフしてしまう	● 本機の HOLD キーがホールド側になっていませんか？ ホールド側になっていると、電源を入れてもすぐに電源オフの状態に戻ります。
音が出ない	● ヘッドホンのプラグが奥まで差し込まれていますか？ ● 音量が最小になっていませんか？ ● 転送したデータのファイル形式は正しいですか？（45、66ページ）
歌詞表示ができない	● 音楽ファイルに歌詞データが収録されていますか？
録音できない	● 本機のメモリ容量が不足状態になっていませんか？ 不要なデータを削除してください。
Microsoft® Windows Media® Player10**で音楽ファイルが同期できない**	● 付属のUSB対応ケーブルが正しく接続されていますか？ ● パソコン側でMicrosoft® Windows Media® Player 10 が正しく動作して、本機を認識していますか？ パソコンを再起動し、本機を接続しなおしてみてください。 Microsoft® Windows Media® Player10 が正しくインストールできているか確認してください。 ● 本機のメモリが不足していませんか？ 同期する曲数を減らしてください。 本体の不要な曲を削除してください。

ファイルを正常に再生できない	● 付属CD-ROMのリカバリーソフトで、本製品をお買いあげ時の状態に戻してください。(62ページ) ● Microsoft® Windows Media® Player10 で同期せずに、コピーしていませんか? 同期していないと、著作権保護されているファイルは、再生されません。
リスニング中の英語文の発音間隔が広いときがある	英語に比べ、日本語の訳が長い場合は、発音の間隔を日本語訳の表示切り替えのタイミングに合わせています。このため、発音の間隔が広く感じる場合があります。
「フォルダ数が本機で扱える制限を超える」旨のメッセージが表示される	● ファイルのコピー操作などを行ったあとに表示された場合は、フォルダ数が制限を超えています。フォルダを削除してください。 フォルダ数の制限数 48個を超えるとエラーになります。
音楽ファイルなどが表示されない	● フォルダが3段を超えて深くなっていませんか。フォルダは「MUSIC」フォルダを含めて4段以上深くすると、3段目より深いフォルダおよびその内容は表示されません。 ● 「MUSIC」フォルダと同じ階層に作成したフォルダに音楽ファイルを入れていませんか。 「音楽/ファイル」では、「MUSIC」フォルダと同じ階層の他のフォルダは表示されません。
録音データ(ファイル)が削除できない	● パソコンで、該等ファイルのプロパティの「読み取り専用」属性にチェックを付けていませんか。 「読み取り専用」ファイルは削除できません。

ダイアローグ 1800 の日本語画面で使用される記号など

品詞等の表示

【動】：動詞　【名】：名詞　【形】：形容詞　【副】：副詞

【前】：前置詞　【接】：接続詞

【頭字語】：フレーズの頭文字から構成される語。ex. USA

【熟】：熟語（一般的に熟語や成句と呼ばれているもの）

【構】：構文（典型的な文の形をとっているもの）

【フ】：フレーズ（従来熟語として認識されているものとは別に、覚えやすい数語からなる語句や短文）

関連情報の表示

◇：派生語（見出し語の品詞のバリエーションと同根語）

⇔：反意語（見出し語と反対の意味を持つ語(句)）

□：類義語（見出し語と似た意味を持つ語(句)）

《cf》：見出し語を含み、覚えやすい数語からなる語句や短文

《注》：用法などにおいて特に注意を要する語に関する説明

略語について

《堅》：形式語

《口》：口語

《俗》：俗語

《米》：米語

《英》：英語

《医》：医学

《法》：法律(学)

《海》：海事・航海語

《解》：解剖

《楽》：音楽

《コンピュータ》：コンピュータ

《病理》：病理学

《理》：物理学

保証書（保証規定）

本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買いあげの販売店にご依頼ください。お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買いあげの販売店にお申し出ください。

ご転居・ご贈答品でお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、製品に同梱しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧のうえ、もよりのサービス会社へご持参、またはお送りください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買いあげ販売店、または当社サービス会社が無料修理いたします。ただし、郵送いただく場合の郵送料金・梱包費用などはお客様のご負担となります。
   なお、故障の内容によりまして、修理にかえ同等製品と交換させていただくことがあります。
2. 保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。
   （イ）本書のご提示がない場合。
   （ロ）本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   （ハ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
   （ニ）お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
   （ホ）火災・公害・地震および風水害その他天災地変など、外部に要因がある故障・損傷。
   （ヘ）電池の液もれによる故障・損傷。
   （ト）消耗品（充電池）が損耗し取り替えを要する場合。
   （チ）持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料などはお客様のご負担となります。また、出張修理などを行った場合、出張料はお客様のご負担となります。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   （THIS WARRANTY CARD IS ONLY VALID FOR SERVICE IN JAPAN.）

★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいましてこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきまして、おわかりにならない場合はお買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

〈郵送についてのお願い〉

郵送される場合には次のことをご注意ください。

1. 保証期間中であるときは、本書を製品に同梱ください。
2. 製品は緩衝材に包んでボール箱に入れるか、または郵送用の袋（メールパック：文具店などでお求めいただけます）などに入れ、輸送中の損傷を防ぐようご配慮ください。
3. 紛失などを防ぐため、簡易書留をご利用ください。

修理メモ

シャープリスニング端末保証書

(WARRANTY CARD)

持込修理

品　名　リスニング端末

形　名　**PA-L100**

保証期間 (VALIDITY)　お買いあげ日より本体１年間 (FULL 1 YEAR AFTER PURCHASE)（ただし消耗品は除く）

お買いあげ日 (PURCHASE)　　　年　　　月　　　日

お客様	お名前	様
	ご住所	〒
	電話番号	(　　　　)　　　―

取扱販売店名・住所・電話番号

印

シャープ株式会社

〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

電話（06）6621-1221番

● 製品についてのお問い合わせは‥		
お客様相談センター	東日本相談室	TEL **043-299-8021** FAX **043-299-8280**
	西日本相談室	TEL **06-6794-8021** FAX **06-6792-5993**
《受付時間》月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜･祝日　：午前10時～午後5時（年末年始を除く）		

● 修理のご相談は‥	製品に付属の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

● シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492

PRINTED IN CHINA
05JSP (0LY85JS051101)
85-JS05-001101